

## 6. 【STEP4 検証】

本章では、神道に改宗するために、具体的に何をすればよいのかについてワークします。ここでまとめることで具体的な行動計画を立てられます。【STEP3 実行】でのワークも反映させながら、詳細をまとめましょう。【STEP1 知る】→【STEP2 検討】→【STEP3 実行】できちんとまとめられていなければ、全体図も見えてきません。次の章で「何を書けばよいかわからない」といったことにならないよう、この【STEP4 検証】でご自身の考えをしっかりとまとめておきましょう。

- ① 現在お住まいの地域の氏神さま（産土神社）はどこ神社かを調べましょう。産土神社の神職さんに神葬祭を依頼できるかどうか相談してみましょう。
- ② 現在お住まいの産土神社の神職さんに神葬祭を依頼できるようであれば、具体的な話を進めましょう。依頼できない場合は、他の神職さんを紹介してもらえよう願う、またはその他の近隣の神社を探してみましょう。
- ③ 神棚や神具を購入してそろえましょう。そして産土神社の神職さんにお祓いをしてもらいましょう。祖先を祀る祖霊舎（それいしゃ）も早めにそろえられるように計画を立てましょう。
- ④ 改宗する場合は、産土神社の神職さんにお手持ちの仏壇・仏具類の御霊を抜くお祓いをしてもらいましょう。仏壇・仏具類はおたき上げをするなど適切に処分してもらいます。また、位牌（いはい）を「霊璽（れいじ）」に替える場合は処分し、替えずに祀る場合は合祀しましょう。
- ⑤ 墓地や墓石の購入についても検討しましょう。購入される場合は、複数の霊園や石材店から見積りをとり比較・検討します。あなたの予算や条件にあった墓地や墓石を選びましょう。
- ⑥ ご自身の生前中に、万が一、自分が亡くなった場合の計画を立てておきましょう。葬儀社の選定、遺産相続、遺言など、家族や親しい人に伝えておきたいことをまとめておきます。ご自身の経歴もある程度まとめておくとよいでしょう。なお、ご自身の告別祭で読上げてもらいたい「祭詞」には生前の経歴も必要です。身内や家族にとっては、あなたの遺言があれば、あなたの万が一の際も、あらゆる引き継ぎや相続などをスムーズに運べます。

※下記は「新葬祭申込書」です。こうした情報があらかじめ整理されていれば万が一の場合も何かとスムーズに運ぶでしょう。

## 神 葬 祭 申 込 書

故人氏名：<sup>ふりがな</sup>  
死亡日時：平成 年 月 日 (享年： 歳)  
(午前・午後 時 分)

喪主氏名：<sup>ふりがな</sup>  
連絡先：住所： (電話： )

—故人経歴—

出生：MTSH 年 月 日生まれ (出生地： )

両親氏名： 父 母 (両親との続柄： )

故人の子供：名前： ( 男 ・ 女 )  
名前： ( 男 ・ 女 )  
名前： ( 男 ・ 女 )

結 婚： 年 月 日 (夫または妻の名前： )

学 歴：

職 歴：

趣 味：

資格 褒章 功績：

晩 年：

病院名・通院歴・死因など：